

研究実施のお知らせ

研究課題名：当院の血液浄化療法およびアフェレシス療法の実態と有効性に関する後方視的観察研究

研究期間：仙台市立病院倫理審査委員会承認日から2032年9月30日

仙台市立病院では、上記の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2014年11月から2022年9月に当院で血液浄化療法やアフェレシス療法を受けられた患者さん

【研究の目的と意義】

本研究は、当院における血液浄化療法およびアフェレシス療法において、選択した方法の実態調査や有効性の検討を通して、今後の当院の血液浄化の方向性を知り、診療の質の向上を図ることを目的とします。

当院の血液浄化療法室では、集中治療室を持つ急性期病院に併設されている特性上、救急領域の急性血液浄化やアフェレシスなどの特殊な血液浄化治療を広く提供しています。このような急性血液浄化を要する患者さんは、各種疾患の合併や多様な病態に合わせた治療が必要なため、迅速かつ個々の病状に合わせた腎代替療法の提供が求められます。加えて、急性血液浄化療法やアフェレシス療法の分野では技術の進歩が著しく、適応決定や治療法の選択において臨床現場の判断に委ねられている部分が多い治療法です。そのため、ガイドライン等で提唱されている治療法の提供と同時に、当院で実際に必要とされている血液浄化治療を把握分析することは非常に有益であると考えられます。

そこで本研究を通して、診療データを解析することで、当院で提供した血液浄化療法およびアフェレシス療法の治療条件や対象の実態調査、有効性の調査分析を行い、今後の当院で提供すべき血液浄化療法を把握し、医療の向上に貢献することを目的としています。

【研究の方法】

情報（診療録等）を用いた後方視的観察を行います。過去に治療された患者さんの診療録や血液浄化療法の記録から必要な項目を抽出して、データ化して統計解析を行い、実態調査と治療効果を評価します。本研究に関して、新たにご自宅を訪問したり質問票を送付したりすることはございません。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報や検査結果、アンケート等を用いて、当院の血液浄化療法およびアフェレシス療法の実態と有効性に関する後方視的観察研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報と厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

市立病院内のみで実施される後方視的観察研究として実施されます。

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 腎臓内科
科部長 山本 多恵（当院の研究責任者）
仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号
電話：022-308-7111（代表）